

～小学生～ 夏休み福祉体験講座

体験を通して福祉の学習をしてみませんか！



体験① 視覚障がい者への援助体験

視覚障がいを体験して、手助けの仕方を学習しましょう。

- ・視覚障がいってなに？
- ・どんな気持ちになるのかな？

(体験時間：約30～40分)



体験② 高齢者疑似体験

80歳の身体と心を体験しましょう。

- ・何が不自由かな？
- ・どんな気持ちになるかな？

(体験時間：約30分～40分)



体験③ 車いす介助体験

車いすの正しい使い方を学んで、車いすを動かしてみよう。

- ・何が困るかな？
- ・どんな気持ちかな？

(体験時間：約30～40分)



開催日時と体験内容

	9:30～11:40	13:30～15:40
令和5年8月 4日(金)	体験①②③	体験①②③
8月 8日(火)	体験①②③	体験①②③
8月 9日(水)	体験①②③	体験①②③
8月 10日(木)	体験①②③	体験①②③

*午前は9:20、午後は13:20に1階受付前に集合をお願いします。

場所

香川県社会福祉総合センター内 実施場所：多目的ホール
(集合場所：1階受付前) 6階介護実習室

対象

小学3～6年生(保護者も可能)・午前10名・午後10名(先着順)

費用

無料

申込方法

電話予約要 TEL:087-835-3152

受付時間：平日8:30～17:00

必要事項：①参加者の名前 ②学校・学年 ③連絡先 ④希望日時

*先着10名とさせていただきます。

服装・持ち物

動きやすい服装と運動靴。水筒と筆記用具を持参してください。

申込 問い合わせ先

高松市番町1丁目10番35号

香川県社会福祉福祉総合センター内

(公財)かがわ健康福祉機構 長寿社会部 担当：久保・藤原

その他

(お願い)

- ・体調管理に気をつけて下さい。
- ・体調に不安がある場合は、受講をご遠慮ください。
欠席される場合はご連絡ください。
- ・受講者自らの判断で、感染予防対策(マスク等)を行ってください。



2022年

夏休み 小学生福祉体験講座を開催しました



高齢者疑似体験

どんなところが不自由で大変なのか、80歳になって体験しました。自分たちにできる事を考えてみました。



特殊なめがねで「見えにくさ」の体験をしました。文字を読んだり、書いたりすることも大変です。



「聞こえにくさ」の体験をしました。話しをしているのはわかるけれど、言葉が聞き取れません。聞き取れないと、不安になりますね。



お買い物体験です。お財布からお金を取り出すことも大変です。自動販売機には、高齢者や車いすの人が利用しやすい工夫がたくさんあることに気づきました。



車いす体験

介助する人と介助される人、様々な立場から、安全な使い方を学びました。



車いすの開き方・閉じ方を体験しました。点検方法や、乗り降りの時の注意点を学びました。正しく安全に使う事が大切です。



親子や兄弟で介助体験をしました。点字ブロックや段差の上を通りました。声掛けの大切さがよく分かりました。



車いすで生活する人の気持ちになって自走体験をしました。曲がり方にもコツが必要です。



視覚障がい者への援助体験

見えにくさは人によって様々であることを理解し、白杖体験をしました。



社会福祉総合センター内にある、案内板は点字でも表示しています。手すりやトイレにある工夫を探検しました。



信号機には見えにくい方のための工夫があります。実際の信号機で確認しました。「カッコー」と「ピヨピヨ」の音で方向が分かりますね。



点字ブロックを手がかりに、特殊なめがねを着けた状態で白杖体験をしました。点字ブロックの大切さがわかりました。